



なぎそ

議会だより

広報

議会だより

公民館報

令和4年12月定例会・全員協議会

町道十二兼線改良



JR中央線十二兼踏切付近の拡幅が行われ、同時に踏切も拡幅されました。

十二兼踏切改良



町道坂の下線改良



国道人口からJR中央線ガードトまでの拡幅工事が完了しました。

議会の眼：町道の改良

蘭地域振興協議会会長 神原 克也さん

シリーズ「聞いて私の思い」

29 P

● 入札制度の見直し等

● 出産・子育て応援交付金
● 県宝藤原家の寄付受領

● 諸証明書コンビニ交付の導入

● 実施計画（令和5年度～令和7年度）
● 蘇南高校の将来ビジョン検討のための視察報告
● 個人情報保護法の改正

★全員協議会

23 P

★委員会報告

23 P

★一般質問

19 P

★木曽広域連合議会報告

18 P

★令和4年12月補正予算

16 P

★条例議案

15 P

★請願・陳情

14 P

★12月定例会可決議案一覧

14 P

○12月定例会は、12月7日から12月14日の8日間の会期で開かれました。

12月定例会

14 P

議長年頭あいさつ

13 P

令和5年（2023年）卯年

明けましておめでとうございます



南木曾町議会議長
山崎 隆二

卯年への期待

令和5年、2023年卯年の年頭のご挨拶を申し上げます。

南木曾町が60歳になった昨年、清水寺の一文字は「戦」でした。

「戦い」といえば、サッカーワールドカップでは比較的小柄な日本の選手が強豪国と熱い「戦い」を繰り広げる姿に日本中が夜遅くまで沸き、勝ち負けに関係なく国を挙げて選手たちの健闘を明るく讃えました。

その一方、2月に発生したロシアによるウクライナ「侵略」は、力づくで他国に「戦い」を仕掛けたものであり、国際秩序上も人道上も許すべきではありません。南木曾町議会は早々に抗議と国の毅然たる対応を求める意見書を全会一致で議決して政府に送りました。

北朝鮮では、国民の生活苦が伝えられる一方、膨大にお金を使うミサイルの発射が次々に報道されます。また、新型コロナウイルス感染症で、日本では人と人との交流も生活

も様変わりさせ集団的に感染抑制に努めていますが、中国では一国の指導者による「ゼロコロナ政策」という強制的隔離政策をし続けた後で、一気に緩和した結果、再び「感染爆発」が起きて混乱しています。

どの国の例を見ても共通するのは、「最高指導者」の名の下で「独裁・独断的」に人の命が失われ脅かされているという、まさに「レッドカード」（退場処分）となる事案です。

日本の過去において、昭和14年の卯年は第二次世界大戦が勃発した年ですが、戦後の統治機構、特に地方自治法では、首長の独断だけでなく議会の承認を必要とする「民主主義の仕組み」が作られています。この仕組みは世界基準になるべきです。

再び卯年の出来事。明治12年の卯年は、エジソンが世の中を「ぱつぱつ明るく」する白熱電球を発明した年。明治24年の卯年は上野発の列車が青森駅まで開通した年。

動物の兎は干支の「卯」となり、飛び跳ねる、向上する例えとなりますが、明治36年にライト兄弟が人類初の動力空中飛行に成功した卯年にちなんで、本年が皆様にとって「跳ねる」に加えて「舞い上がる」年になりますように。

議会の主な動き

（9月定例会閉会以降を記載）

9月		10月		11月	
30日	議員懇談会、議会運営委員会、リニア新幹線対策特別委員会、議会のあり方研究特別委員会	6日	南木曾町・木曽森林管理署南木曽支署合同育樹祭	17日	木曽南部直轄砂防推進協議会・木曽南部土砂防災ネットワーク議員連盟要望活動（～15日）
30日	松塩筑木曾老人福祉施設組合	7日	国道19号整備促進要望活動	17日	木曽南部直轄砂防推進協議会・木曽南部土砂防災ネットワーク議員連盟要望活動（～18日）
10日	松塩筑木曾老人福祉施設組合	17日	長久手市議会・南木曾町議会	18日	中津川南木曽県際道路改修促進協議会・県境近隣市町村議員連盟要望活動
14日	議員による国関係省庁・団体への表敬訪問及び陳情活動	21日	木曽南部土砂防災ネットワーク議員連盟総会	18日	中津川南木曽県際道路改修促進協議会・県境近隣市町村議員連盟要望活動
14日	11月定例議会	21日	長野県町村議会議長会第35回定期総会	29日	国道256号改良促進特別委員会・経済観光常任委員会合同会議（木曽建設事務所意見交換会）
9日	三重県東員町議会教育民生常任委員会視察	25日	木曽郡町村議会議長会長野県要望活動	29日	国道256号改良促進特別委員会・経済観光常任委員会合同会議（木曽建設事務所意見交換会）
4日	木曽南部直轄砂防推進協議会・木曽南部土砂防災ネットワーク議員連盟要望活動	31日	中津川市議会・南木曾町議会	30日	国有林対策特別委員会・木曽森林管理署南木曾支署意見交換会、議会運営委員会
3日	南木曾町表彰式	28日	リニア特別委員会合同会議	1日	国有林対策特別委員会・木曽森林管理署南木曾支署意見交換会、議会運営委員会
11月			総務文教常任委員会・教育委員会・小中学校合同会議		
5日	南木曾町議会12月定例会	5日	県境近隣市町村議会議長会要望活動		
7日	（～14日）				

令和4年 12月定例会 可決議案一覧

予算関連議案		賛否
●令和4年度 補正予算	・一般会計の補正是879万円減額し、総額43億7,873万2千円となります。 審議内容 掲載P16	全員賛成
一般議案		賛否
●令和4年度南木曽町役場庁舎屋根外壁修繕工事請負契約の変更について	・役場庁舎の屋根外壁修繕工事について、町章・町名の塗装や懸垂幕装置の交換など工事内容を変更し、契約金額を146万3千円増額するものです。	全員賛成
承認議案		賛否
●南木曽町有林野經營事業計画の承認について	・令和5年度町有林野經營事業計画 事業費620万円 間伐6ha、獣害防止4.7ha、除伐3ha、作業道400m	全員賛成
条例の改正 審議内容掲載 P15		賛否
●職員の定年等に関する条例の一部改正について	・地方公務員法の一部を改正する法律による国家公務員の取扱いに準じて、職員の定年年齢を60歳から65歳に引き上げるとともに、管理監督職勤務上限年齢や定年前再任用短時間勤務制の導入に伴い規定を整備するものです。	全員賛成
●地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について	・職員の定年年齢引き上げや管理監督職勤務上限年齢及び定年前再任用短時間勤務制の導入に伴い、国家公務員の取扱いに準じて関係条例を整備するものです。	全員賛成
●南木曽町職員定数条例の一部改正について	・令和5年度から職員の定年年齢が段階的に引き上げられることに伴う将来の町職員数の見込みにより、町長の事務部局の職員定数を66人から71人に増員するものです。	全員賛成
●職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	・地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、非常勤職員の育児休業の取得要件を緩和するとともに、定年年齢の引き上げに伴い育児休業取得対象職員に関する規定を整備するものです。	全員賛成
●南木曽会館の設置及び管理運営に関する条例の一部改正について	・南木曽会館の施設使用料を100円単位に切り上げ改正し、冷暖房費を100円単位の1時間当たり使用料単価に改正するものです。	賛成多数
●南木曽町社会体育館の設置及び管理運営に関する条例の一部改正について	・南木曽町社会体育館の施設使用料を100円単位に切り上げ改正するものです。	賛成多数
●南木曽町地域社会教育施設の設置及び管理運営に関する条例の一部改正について	・南木曽町地域社会教育施設の施設使用料を100円単位に切り上げ改正し、妻籠社会教育施設（旧妻籠小学校）の取り壊しに伴い、該当の記述を削除するものです。	賛成多数
●南木曽町学校開放施設の管理に関する条例の一部改正について	・南木曽町学校開放施設の施設使用料を100円単位に切り上げ改正するものです。	賛成多数
●南木曽町総合グラウンドの設置及び管理に関する条例の一部改正について	・南木曽町総合グラウンドの施設使用料を100円単位に、照明使用料を1000円単位に改正し、テニスコートの施設利用廃止に伴い該当の記述を削除するものです。	賛成多数
●妻籠町並み交流センターの設置及び管理運営に関する条例の一部改正について	・妻籠町並み交流センターの施設使用料を100円単位に切り上げ改正し、冷暖房費を100円単位の1時間当たり使用料単価に改正するものです。	賛成多数

●安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める陳情書

提出者 長野県医療労働組合
連合会 執行委員長 小林 吟子
趣旨 採択（意見書送付） 結果

コロナ禍によつて「医療崩壊」や「介護崩壊」が現実となつたが、これらは感染対策の遅れだけでなく、医師や看護師、介護職員や保健師の不足が根本的原因である。毎年のように発生している自然災害時の対応や、新たな感染症に備えるためにも、平常時から必要な人材体制の確保を国の責任で行い、対策の拡充などを機能強化を強く求めることとなる。公立・公的病院や保健所の拡充など機能強化

補正予算審議概要

令和4年12月補正予算（一般会計・特別会計・事業会計）が審議され、全会一致で可決されました。

補正予算概要を次ページの表に示し、審議の主要な質疑を掲載します。

タクシーによる運行が始まっているが、利用状況は。

A 昨年度の10月は与川線・北部線合わせて20人でしたが、今年度は約50人と2倍以上利用されています。

と考えます。

要望 小・中学校の児童・生徒も含め、交通弱者の声を反映してもらいたい。

Q ●ふるさと納税委託料が増額となつたためか。

A 昨年に比べ1件当たりの金額は減少していますが、件数が増加したことと委託料が増えました。

納税額は10%ほど伸びており、委託契約先を1社追加した効果も出てきていると思われます。

A どの考え方があるか。計画段階ですが、空き店舗を使っての事業計画に対する補助などを考えています。

要望 空き店舗を活用して町で起業を考えている人もいる。力強い支援を求める。

Q ●飼料高騰への対策費で24万円が計上されているが、議会や農業委員会からの意見はどう程度反映されたか。

A 牛だけではなく、羊・ヤギ・養魚などの飼料にも拡大した事業となっています。

A まだ国から交付額の正式な算出根拠はありませんが、直近の国勢調査や農林業センサスの結果を反映したことによる見直しと認識しています。

●林道与川野尻線の通行止め

A 林道与川野尻線が長期間通行止めになっている。原因と開通の見通しは。

A 大桑村地籍での橋梁復旧工事が遅れるためです。工事は今年度で終わらない可能性もあります。

●林道細野山線の通行止め

A 2か所の橋梁架け替え工事を検討していましたが、想定していた工法では認可が下りないことが分かりました。今年度の調査設計費を減額し、次年度以降に再検討します。

●防火水槽の修繕
Q 寺地区に水が溜まつていない防火用水があるが、修理の予定は。

A 現地は確認していますので、至急対応します。

●音声告知放送
Q 日曜日の朝の放送が土曜日の日付のまま放送され、訂正されなかつた。

A 誤りについては訂正放送を行うよう努めています。

●簡易水道によって大高取や三軒家へ給水が開始されるのはいつか。

A 限定して試行中で、時間も午後2時までと制限されている。今後、利用範囲を拡充する予定はあるか。

●空き家対策
Q 空き家利活用補助金の増額は、空き家利用が進んだ結果か。

A 今年度の利用データの収集に加え、利用者や保護者の意見をアンケートなどで聞きながら、時間の拡充も含め公共交通計画の毎年の見直しに反映したいについて、新たな補助な

●肥料の高騰対策はどうなっているか。
Q 町内で耕作している町外の方にも対応するなどの見直しを行って実施します。

●森林環境譲与税の減額が進んだ結果か。
Q 森林環境譲与税が年間の見込みより20万8千円の減額となっている理由は。

A 林道細野山線の橋梁修理工事が減額となつている理由は。

A 2か所の橋梁架け替え工事を検討していましたが、想定していた工法では認可が下りないことが分かりました。今年度の調査設計費を減額し、次年度以降に再検討します。

●リニア水道水源予備的措置関係の減額
Q 国道256号の水道管理設工事について、設計委託料や施設修繕料など3千万円以上が減額となっている理由は。

●デマンドタクシー
Q 試行的にデマンド



町道和合妻籠線の災害復旧箇所

●町道和合妻籠線
●町道坂の下線改良工事は補助事業だが、補正する理由は。

●町道坂の下線改良工事内容の変更により、300万円を増額しました。うち147万4千円が補助金の増額分です。

●町道妻籠町中線
●町道妻籠町中線工事の内容は。妻籠発電所から第三駐車場までの部分について、設計が出来次第発注を行います。

●通学路の交通安全対策工事として路肩の片側を塗装して注意喚起をは。●通学路の交通安全対策として路肩の片側を塗装して注意喚起をは。

●通学路の安全対策グリーンベルトの設置工事で、北部の梅通り地区から龍淵橋周辺の舗装を緑色に塗装した理由は。

●通学路の安全対策グリーンベルトの設置工事で、北部の梅通り地区から龍淵橋周辺の舗装を緑色に塗装した理由は。

●通学路の安全対策グリーンベルトの設置工事で、北部の梅通り地区から龍淵橋周辺の舗装を緑色に塗装した理由は。

●妻籠地区の土砂崩落の急傾斜地が今年の大雨で崩落している。町は応急的に落石防止措置を施しているが、町営駐車場のバスや人を巻き込むおそれがある。町で復旧工事を実施すべきではないか。

●妻籠地区の土砂崩落の急傾斜地が今年の大

谷側にガードレールを設置する計画だったと聞いている。●確認して検討したいと思います。

●除雪対応

●大沢田橋水道管工事の見直し

●大沢田橋の水道管工事再設計委託料が示されているが、内容は。

●要望 運転手から見れば通学路であることが分かつて良いが、片側しかないと両側に引いてもらいたい。

図るもので、町道坂の下線や大野正兼地区などで実施する予定です。

なお、グリーンベルトは正式な歩道ではなく、運転手に注意をうながすものです。歩行者は注意しながら歩行することになります。

令和4年12月補正予算 (12/14決)

一般会計補正予算 879万円を減額

総額 43億7,873万2千円に

●一般会計・特別会計補正予算

(単位:千円)

会 計	補 正 額	補正後の金額
一般会計 (第5号)	△ 8,790	4,378,732
国民健康保険特別会計 (第3号)	14,099	335,773
後期高齢者医療特別会計 (第2号)	△ 594	78,786

●一般会計補正の主なもの

(単位:千円)

会 計	補 正 額
町道妻籠町中線・町道坂の下線改良事業	7,620
歴史の道小規模補修工事	3,000
出産・子育て応援交付金事業	1,500

●事業会計補正予算

(単位:千円)

会 計	補 正 額	補正後の金額
簡易水道事業会計 (第3号)		
収益的収入	17,588	152,763
収益的支出	4,443	148,762
資本的収入	△ 69,243	510,946
資本的支出	△ 53,186	582,175
特定環境保全公共下水道事業会計 (第2号)		
収益的収入	782	73,395
収益的支出	965	51,421
資本的収入	0	11,400
資本的支出	△ 8	45,231
農業集落排水事業会計 (第2号)		
収益的収入	941	98,064
収益的支出	1,944	62,078
資本的収入	0	400
資本的支出	△ 14	50,335
浄化槽市町村整備推進事業会計 (第2号)		
収益的収入	△ 1,719	128,944
収益的支出	△ 1,591	123,038

ステムが変更となり、除雪業者の判断で除雪を行うことになつたが、

区長や住民が役場に要請しても対応してもらえるのか。

A 区長からの連絡による対応も従来通り行います。

Q 三留野から北部への右岸道路の除雪はどうやうに行うか。

A 見直しにより、重機を1台追加して2車線で除雪を行う体制となります。

Q 除雪の積雪目安が、地域バス路線で5~10cm、その他路線で10~15cmに見直された。その他路線では業者の判断によって除雪の開始時期が変わるものではないか。

A ある程度の基準はありますが、町内の除雪はほとんどの路線で一斉に行うようになると考えます。ある箇所は除雪を行ながる、通行に支障がある箇所は除雪を行ながります。

Q 厳雪しやすい日陰などでは、雪が少し緩んできた時などに業者の判断で対応してもらえるのか。

A 業者の判断にもよりますが、町も現場を確認しながら必要な箇所については業者へ依頼したいと考えます。

よう業者と調整します。

が悪く状態が良くない。

原因を調査してもらいたい。

Q 積雪しやすい日陰などでは、雪が少し緩んできた時などに業者の判断で対応してもらえるのか。

A 状況について承知はしていますので、原因を調べたいと思いま

す。

が悪く状態が良くない。

原因を調査してもらいたい。

Q 朝の除雪によつて圧雪され、通勤時の事故につながつた事例がある。除雪の仕方は考えてほしい。

A 色々な原因が考えられますので調査したいと思います。

Q 交流センター下の光徳寺階段途中にも水が湧き出している。冬場は凍つて危険であるため、調査をお願いしたい。

A 各種の有無で凹凸が出来、冬場は特に車両が通りにくい。地域要望としても上がつてゐるが、全面舗装することは出来ないか。

A 現在中山道の保存活用計画を作成中で、住民の意見を踏まえながら年度末までに保存する部分と見直す部分をまとめる予定です。

Q 渡島地区の久保洞から一里塚の間に石畳があるが、アスファルト舗装の有無で凹凸が出来、冬場は特に車両が通りにくい。地域要望として上がつてゐるが、全面舗装することは出来ないか。

Q 中山道全線の中で、未舗装で雨によつて浸食された箇所や、木造の橋などの修繕を予定しています。

Q 交流センターのグランド周辺は水はけ

A 妻籠分館跡地の駐車場整備は、令和4年度過疎対策事業費の減額に対応するため、令和5年度へ先送りしました。

Q 妻籠町並み文化交流センター周辺の整備予定は。

●歴史の道の修繕

Q 文化財災害復旧費として歴史の道の小規模修繕費300万円が計上されているが、場



渡島地区の石畳

報告 木曽広域連合議会

11月30日に開催された第4回定期会の主な内容は次のとおり。

●損害賠償の額の決定の専決処分報告

木曽クリーンセンターにおける車両接触事故
損害賠償額：19,800円

●木曽広域連合条例の改正など

- ・職員の定年等に関する条例の一部改正
- ・地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例
- ・職員の育児休業等に関する条例の一部改正
- ・人事院勧告に伴う関係条例整備に関する条例

●令和4年度一般会計補正予算（第4号）

1,625万1千円を増額し、38億4,759万8千円となりました。人事院勧告に基づく人件費の増加、電気料金の増加、施設補修工事の増が主な内容です。

●令和4年度介護保険特別会計補正予算（第3号）

696万2千円を増額し、41億5,749万2千円となりました。人事院勧告に基づく人件費の増加と介護保険システム改修委託料の増です。

●令和4年度下水道事業会計補正予算（第3号）

4万3千円を増額し、1億1,898万9千円となりました。

全員協議会

- ・令和5年度から実施される職員の定年延長制度についての説明がありました。現行の60歳から2年に1歳ずつ段階的に定年が引き上げられ、令和13年度には65歳となります。
- ・第6次木曽広域連合の「広域計画」の経過と今後の予定について報告がありました。

12月定例会

7人の議員が一般質問



◆赤坂 孝 議員

- ・リニア工事における町の関わりは

◆近藤 隆 議員

- ・高齢者補聴器購入費補助制度の拡充を

◆伊藤 寿子 議員

- ・妻籠町並み交流センター入札に関わる一連の新聞報道について

◆松原 崇文 議員

- ・中学校部活動の外部コーチについて
- ・入学祝い品 長く選ばれるものに

◆田中 晃 議員

- ・地方創生総合戦略 成果報告の評価は
- ・こども園から半年、状況は

◆早川 親利 議員

- ・天白公園周辺の整備計画は

◆坂本 満 議員

- ・入札問題への考え方
- ・埋蔵文化財への対応
- ・聴力検査への補助を

※一般質問の質疑内容は各議員の編集によります。

リニア工事における町の関わりは ●対策協議会のあり方

●協議会の進行について

A 一部委員の発言が多く、重複した質問もある。解決した問題とされていない問題を整理して示してはどうか。

Q ●対策協議会のあり方協議会の進行について、一部委員の発言が多く、重複した質問もある。解決した問題とされていない問題を整理して示してはどうか。

A 確認事項の内容を整理し、協議会で共有した上で議論出来るようにしたいと思います。

Q ●対策協議会のあり方協議会の進行について、一部委員の発言が多く、重複した質問もある。解決した問題とされていない問題を整理して示してはどうか。

A 東海に回答を求めては。JR 東海に回答を求めては。JR 東海に回答を求めては。

Q 様々な課題について、どこで区切りを付けるのか。協議会の着地点はどこになるか。

A 一つの課題が解決しきりに付帯する課題があるため、継続して協議を行うことになります。

Q 委員の人数や構成について見直す予定は。

A 設置要綱に基づき、現在24名が委員となっています。今のところ見直しは考えていません。

Q ●発生土置き場の確保について見直す予定は。

A 住民の理解が得られていおらず、発生土置き場の確保が進まないことが原因と考えています。JR に対しては、施工方法について丁寧に説明するなど地元住民に寄り添った対応をするよう住民目

か。現状、産業経済活動やリニア活用基本構想の具体的な取組状況について協議がされていないようを感じる。

Q ●対策協議会のあり方協議会の進行について、一部委員の発言が多く、重複した質問もある。解決した問題とされていない問題を整理して示してはどうか。

Q ●対策協議会のあり方協議会の進行について、一部委員の発言が多く、重複した質問もある。解決した問題とされていない問題を整理して示してはどうか。

A 課題について協議す

る場であり、リスク軽減が基本的なスタンスとなっています。リニアの活用については現在商工会を中心にお願いしてお

り、町の関係部署とも連携して進めています。

Q 南木曽町リニア活用基本構想の具体的な取組状況は。また、特別委員会や有識者会議の開催など、対策の考え方は。

A 各種事業のうち、リニア事業で取り組めるものについては積極的に取り組んでいきます。

Q ●発生土置き場の新たな候補地はあるか。

A 今年度新たに1件が追加され、合計41件の候補地があります。

Q 置き場の交渉について町としての関わりは。

A JRからの依頼があれば町も関与しています。

Q 国道256号の発生土置き場は問題無く決まるようだが、リニア工事ではなぜ問題となるのか。

A リニア工事に係る発生土置き場は環境保全計画が1か所ごとに必要となるため、手続きにより時間がかかります。また、国道などの工事は地元の要望により行われますが、時間がかかります。

Q ●発生土置き場の確保について見直す予定は。

A 住民の理解が得られていおらず、発生土置き場の確保が進まないことが原因と考えています。JR に対しては、施工方法について丁寧に説明するなど地元住民に寄り添った対応をするよう住民目

に厳しい状況です。



赤坂 孝 議員

高齢者補聴器購入費補助制度の拡充を

●耳鼻科医師の意見書は必要か

Q 現在の日本の高齢化率は29・1%で、南木曽町はこれをはるかに上回るペースで進んでいる。これからも高齢者が住み慣れた地域で健康に暮らせるように介護や医療の支援が必要と思う。健康新命を延ばすには社会とのつながりが重要で、特に会話が大事である。

A 令和3年度から始まつた補聴器購入補助の利用実績は。

Q 平成27年度から補助金制度設置した木曽町の実績は延べ237件、年平均30件であり、南木曽町の人口規模にすると年約11件となる。木曽町では購入した補聴器の領収書のみで補助の対象にしているが、南木曽町では耳鼻科医師の意見書を付

けなくてはならない。意見書の添付なしで補助対象に出来ないか。

A 医療的に補聴器の有効性を判断するために、意見書は必要と考えています。



近藤 隆 議員

妻籠町並み交流センター入札に関する一連の新聞報道について新

●町の考えは

Q 今回の新聞報道にもあるように現在3名が書類送検されていることにについて、町の考えは。

A 町民の皆さんにはご心配をおかけしており、大変申し訳なく思っています。関係機関と協力する中で真相を明らかにして相応の対処をしていくと共に、入札制度の改善も図っていく所存です。

Q 町職員に対する説明は。

A 職員には冷静な行動を取ることや言動に配慮すること、また公務員倫理を徹底するように伝えています。

●交流センターを除く3件の工事入札事務に関する調査報告書の概要

Q 11月29日の全員協議会で町から示された調査報告について、予定価格は決裁者が記入封印のう

え会計室へ保管されるとあるが、決裁者とは誰か。

また、予定価格と設計金額は同額ではないのか。

A 決裁者は金額によつて課長・副町長・町長など町の規定により決められています。国・県から設計金額を尊重するよう指導されていることから、予定価格は設計金額とほぼ同額となっています。

Q 事後公表もしている中では価格を推測出来る状況にありました。

Q 3件のうち2件の工事について設計金額の調査が出来ていないとあるが、いつ調査するのか。

Q 今まで町発注の建築工事に関しては厳しく意見を言ってきたが、入札と無関係な建築士2級以上の有資格者などを含めた専門部署や専門委員会が必要ではないか。

Q 今までも町発注の建築工事に關しては厳しく意見を言ってきたが、入札と無関係な建築士2級以上の有資格者などを含めた専門部署や専門委員会が必要ではないか。

Q 建築以外にも土木やその他専門職の必要性はありますんでしたが、聞取り調査を行った中では、不正の事実は見受けられませんでした。

Q 調査報告では、入札契約事務の適正化のために公共工事の入札・契約制度や公文書などの情報管理の徹底、法令などに

関する職員教育、外部からの働きかけに対する対応マニュアルの整備など

が示されているが、今後も

20年来の悲願で

あつた妻籠分館が小学校の跡地に建設され、これ

からという時に今回の報道は非常に残念だった。

道は代償は大きいが、今後も

守っていきたい。



伊藤 寿子 議員

議会だより

中学校部活動の外 部コーチについて

ていくことが必要と考えます。

Q 10月31日に行われた総務文教常任委員会・教育委員会・小中学校による合同会議の中で、中学校から部活を外部コーチにお願いしたいという話があつた。

A 先生方の負担軽減は大切なことと思うが、色々とクリアしないといけない課題があると思う。現状について伺う。

A 現在中学校の部活動については先生が17時まで指導を行い、その後は外部コーチによる地域クラブに参加する例などがあります。

受け皿となるクラブ活

動や指導者の体制には課題がありますが、チャレンジクラブや中学校と課題を確認して、今後協議を進めていく予定です。



松原 崇文 議員

地方創生総合戦略 成果報告の評価は

Q 今年度の地方創生総合戦略会議が新たな委員の下行われた。

Q 「令和3年度の成果報告」では、地方創生総合戦略の4つの基本項目のうち、「子育て世代が戻ってこられる雇用の創出」「子育て世代のリーダー育成」「子育て世代が安心して結婚・出産・子育てができる環境づくり」において目標達成度の低い項目があつた。どのように評価するか。

A 結婚届出数や出生数の低迷は、長引くコロナ禍の中で結婚や出産を控えた方々もいたと聞いています。この意見を聞いただけで終わっては意味が無い。それらが反映されて実績が上がるよう努力を求める意見はあるか。

A 南木曽町が選ばれる意見として、子育て世帯からの意見を聞いただけで終わっては意味が無い。それらが反映されて実績が上がるよう努力を求める意見はあるか。

A 小学校は鍵盤ハーモニカと布製ランドセルのどちらかを、中学校は学校運動着上下を贈っています。

A 選ぶものがなければ淋しい。祝い品であるため保護者の意見も聞いて、長く選ばれるものを考えていただきたい。

A 選ばれるものについても考えていきたいと思います。

A 平成30年から行ってる事業で、開始当初は土日や休日から検討し

います。経済活動も停滞する中、結果が出ていない項目があったことは残念でした。

会議の総括を頂いた松本大学の名誉教授からは「子どもを中心として考えるなら、お母さんをどう助けていくかが重要である」と指摘を受けました。今回の会議では、ま

さにそういった視点での意見を多く頂いたため、このような声に応えている。



田中 晃 議員

こども園から半年、 状況は

Q 南木曽こども園がスタートして8か月経過するが、運営状況は。また、通園バスなど新たに始まった取り組みの状況は。

A 子どもたちは、仲間が増え、大勢で活動できることを喜んでいます。新しく始まった取り組みを良く聞いて、有効な施策の実行を望む。

達成度の低かった項目	目標	実績
地元企業への新規就労者数	20	4
起業支援数	5	0
U-IJターンの就業・移住支援事業	1	0
空き家バンク登録件数	10	6
結婚届出数	15	10
出生数	20	12

A 入学祝い品長く選ばれるものに現在渡している品物は。

A 私が聞いた中では、中学校の保護者はおおむね良い反応だったが、小学校の保護者からは選ぶものがないと言う意見をいただいた。せっかく祝い品として渡すものであれば、選んでもらえる品物に変えるべきでは。

A 保護者からいろいろな意見はいただきていますが、学校とも協議する中で品物を決めています。

A これまでの部活動についても、その後は外部コーチによる地域クラブに参加する例などがあります。

A 現在中学校の部活動については先生が17時まで指導を行い、その後は外部コーチによる地域クラブに参加する例などがあります。

A 先生方の負担軽減は大切なことと思うが、色々とクリアしないといけない課題があると思う。現状について伺う。

A 先生方の負担軽減は大切なことと思うが、色々とクリアしないといけない課題があると思う。現状について伺う。

A 先生方の負担軽減は大切なことと思うが、色々とクリアしないといけない課題があると思う。現状について伺う。

A 先生方の負担軽減は大切なことと思うが、色々とクリアしないといけない課題があると思う。現状について伺う。

天白公園周辺の 整備計画は

町道天白線に雜木林
ツツジがはみ出して通行
を妨げている。除去出来
ない。



早川 親利 議員

考え方
入札問題への

●入札結果公表の改善
入札結果の公表では
透明性を保つために公表
期間の改善を。



坂本 満議員

Q 今年9月、天白公園の整備について陳情が出されたが、ミツバツツジ園の整備状況は。

A 11月中旬に、ミツバツツジ園の下草刈り、雑木の除去、ツル切りを業者に委託して行いました。今後、残りのツル切りや施肥などの環境整備を計画しています。

Q 公園内には6～7種類のミツバツツジが群生し、その中でもナギソミツバツツジは町の花や天然記念物に指定されており、町の観光名所でもあります。今後、専門家による診断や専門業者による手入れを行い、毎年計画的に整備する考えはないか。

A 今後は各関係部署と協議をして、天白地区ミツバツツジ群生地管理計画を策定し、計画的に管理を行う予定です。

要望 忠霊塔の前にあるトイレが老朽化している水洗トイレにして、町で管理をしてほしい。

A 天白集会所付近と高校教員住宅上について、今年度伐採を実施する予定です。伊勢小屋沢沿いについては、今後整備計画を立てて実施します。

Q 忠靈塔付近から町に寄付された山林跡があるが、雑木が段々大きくなり、有害鳥獣の被害に繋がっている。この土地の利用計画はあるか。

A 現時点での活用方法はありませんが、今後検討したいと思います。

Q 寄付された土地にツツジを植えて、第二のツツジ園にしてはどうか。現在のツツジ園で密集しているツツジを移植する方法もあると思う。

Q 悲しめる乙女の像の前にある「俚諺」という蛇抜けの言い伝えの文が読めない状態である。整備をお願いしたい。

また、ゆうべの歌の音楽装置も操作盤が壊れているため、整備をお願い

早川 親利 議員

Q ●最低価格との一致
町実施工事に係る
札問題では、施設関係の
事業で入札価格と最低価
格の一一致があつた。業者
は最低価格が90%にな
ることを予測出来るのか
また、競争原理は働いて
いるのか。

A 町の「最低制限価格
制度実施要綱」によつて
計算するとおむね想定
出来ます。また最低制限
価格を下回る入札業者も
あり、競争原理は働いて
いると推測出来ます。

Q 町の報告では複数
の価格一致は不自然との
表現があるが、この点に
ついての見解を伺う。

A 予定価格、最低制限
価格は落札の範囲内であ
り、一致も有効です。

公表価格を用いて設
する事業もあり、積算し
方などの普及でかなり
予定に近い数字が出ると
聞いており、業種によ
ては一致もあり得ると判
断しています。

入札結果の公表では、透明性を保つために公表期間の改善を。



坂本 満議員

A 情報開示は、一建設工事入札契約情報公表要領」などがあり、公表期間は公表日翌日から1年間となっています。国や県の指針などと照らしながら公表期間の検討をしたいと考えます。

要望 住民への説明も含め、きちんとした対応を要望しておく。



2023.2.1 NAGISO [22]

報告 松塩筑木曾老人福祉施設組合議会

11月10日に開催された11月定例会の主な内容は次のとおり。

●令和3年度一般会計歳入歳出決算

歳入額：44億8,936万5,959円

歳出額：43億3,547万3,364円

実質収支は1億5,389万2,595円の黒字決算となりました。

●令和4年度一般会計補正予算（第1号）

歳入・歳出ともに1億1,000万円の増額となりました。

全員協議会

- 令和5年度～7年度実施計画の策定について
- 「組合施設のあり方に関する指針」策定について

議員報告

あすなろ荘の存続に向け、本会議で6項目の質問を行いました。建物の老朽化や介護職員の不足など、様々な課題の解決に向けて今後も組合への要望などを継続していきたいと考えています。

(文責：伊藤 寿子)

国會議員及び関係機関への陳情活動等の報告

11月14日から15日にかけて、議員全員で国會議員及び関係機関への表敬訪問や陳情活動を行いました。

地方政治と地方行政に資することを目的とし、町の直面する諸課題について住民を代表する立場から国會議員に陳情するとともに、砂防事業などでご尽力いただいている関係者を訪問して敬意を表する活動を行いました。

【訪問先】

- ・後藤茂之経済再生担当大臣
- ・長野県関係の衆参国會議員（議員会館）
- ・国土交通省水管理・国土保全局（砂防関係）
- ・（一社）全国治水砂防協会、砂防フロンティア整備推進機構、砂防・地すべり技術センター

(文責：議会運営委員長 松原 崇文)

長久手市議会との交流会

10月17日、南木曽町と友好都市関係にある長久手市の議会から南木曽町の視察研修を兼ねた交流会開催の申し込みがあり、南木曽町議会議員全員が参加して交流活動を行いました。

視察では、(株)勝野木材、道のオアシス三留野宿、妻籠町並み交流センターなどを見学しました。

その後の意見交換会では、長久手市における子ども議会の取り組みや、議会のICT利用・ペーパーレス化などについて情報交換を行いました。

(文責：議会運営委員長 松原 崇文)

議会と町の意見交換
全員協議会

(12月7日、14日、15日)

全員協議会とは…
議会独自の運営協議、議員間の意見調整、本会議審議中ににおける協議、執行機関と議会側の意見調整などをを行うための場で、議会の開会中及び閉会中に関わらず議長の招集により開催し、公開を原則とします。

実施計画（令和5年度～令和7年度）

【説明概要】

基本計画で掲げる施策を実現するための事業を示すもので、今は令和5～7年度の計画を策定しています。

Q ● 計画の基本的な考え方

A ● 財政状況と基本的な考え方

Q ● 第10次総合計画や地方創生総合戦略といつた町づくり計画に従い、移住定住や子育て世代への支援などの人口減少対策に力を入れ、選ばれるまちづくりや他町村との差別化

A ● 限られた財源の中、優先順位を付けて住民の暮らしを守ることを考え、現在の行政サービスを続けるための計画になっています。

Q ● 財政状況と基本的な考え方

A ● 限られた財源の中、優先順位を付けて住民の暮らしを守ることを考え、現在の行政サービスを続けるための計画になっています。

増え、今住んでいる人が住み続けたいと思うような行政サービスに取り組んでいきたいと考えています。

新年度予算には、南木曽町ならではの特徴的な施策を計上したいと考えます。

●リニアの活用

Q 今後南木曽町の近隣にはリニア中央新幹線の駅が出来るが、そういう事象をメリットとして生かすことも必要では。

A 現在はリニア工事に対する環境保全などが中心となり、リニアを活用した町づくりまで手が回っていませんが、今後は活用に向けても研究し、対応していきたいと思います。

●要望 地域再生に積極的な町村には、人口や税収を増やした成功例もある。積極的な施策移住定住政策の推進をお願いしたい。

Q リニア推進調査研究費として商工会への補助が計上されているが、成果報告はあるか。

A 商工会の「リニア新幹線を活かした地域づくり委員会」は4年前に講演会を一度実施しています。現在はコロナ禍により活動出来ていませんが、予算の活用を申し入れています。

ロナ禍により活動出来ていませんが、予算の活用を申し入れています。現在はコロナ禍により活動出来ていませんが、予算の活用を申し入れています。

●意見 蘭地区のリニア関連施設に対する地元食材の活用や弁当の交渉について、商工会に涉るについて、商工会に関わってもらえず困っているとの声も聞いています。調査研究費を使つた活動をさらに求めらるべきだ。

Q ●広域負担金

木曽寮負担金で養護事務費が新規に計上され、ごみ処理負担金や環境センター負担金、リサイクル負担金などを増額した理由は。

A 木曽寮養護事務費負担金は令和4年度も支出していますが、木

曾寮の建て替え事業に伴い人件費分が増となっています。ごみ処理負担金などの増額は、処理業者の委託料引き上げなどにより、負担金が増額となつたためです。

●DX推進・ペーぺー化

DX推進費はデジタル化に向けての事業だが、町の考えは。

A DX推進費は町の諸証明書のコンビニ交付事業など複数の事業を含んでいます。

議会でも検討されているタブレットの導入については、課題を整理しながら準備を進めたいと考へています。

●要望 交通弱者対策は各地域から強い要望が出ている。早期に実施出来るよう求める。

Q ●議会のテレビ放送

議会の様子を広域テレビで放送する計画はあるか。

A 現時点での計画には入っていません。

Q ●交通弱者対策

高齢者など交通弱

者の問題は切羽詰まっていると感じるが、飛躍的な改善をしようと計画にはなつてないよう見える。

●観光の面ではインバウンド需要の復活とすることも踏まえ、馬籠線を活かすことも含めて、全体的に demand の対策を改めていくことになると考へます。

●福祉・医療

出産支援については、保健の出産一時金を支給しているが、町が上乗せして50万円を支給しているが、国は来年度から出産一時金を50万円に引き上げるようである。その場合、現在2万円の出産祝い金を10万円にしてはどうか。

●出産への支援

出産支援については、保健の出産一時金を50万円に引き上げるようである。その場合、現在2万円の出産祝い金を10万円にしてはどうか。

●農林水産業

森林環境譲与税が令和5年度から500万円増額となつた理由は。

A そのような意見も含めて検討はしていませんが、町としては入園・進学時の子どもたちへの祝い品などの見直しを考えています。

●要望 品物でのお祝い

旅行業界が大変厳しい状況であり、調整がついていません。引き続き企業と交渉していく

●要望 公民館の運営

社会人教室について内容を教えてほしい。

金の増額を要望する。

●聴力検査への補助を実施計画で計上することは難しいですが、補聴器の利用が進むことで認知症への対応などに効果的であるとの意見もあり、改めて検討したいと考へます。

●保健衛生の健診項目に、聴力検査を追加出来ないか。

A 実施計画で計上することは難しいですが、補聴器の利用が進むことで認知症への対応などに効果的であるとの意見もあり、改めて検討したいと考へます。

●森林環境譲与税

令和6年度の森林環境譲与税が令和5年度から500万円増額となつた理由は。

A 国からの配分が1割になるため、2680万円と増額を見込んでいます。

●要望 森林環境譲与税はどの事業に使われているのか。

A 森林環境譲与税は一般財源扱いでいますが、令和5年度は森林環境事業1160万円と基金分1030万円を見込

●要望 品物でのお祝い

出生数が現在15人と減っていることもあります。この町での出産・育児の支援として出産祝い

議会だより

んでいます。

森林環境税事業のうち560万円を木曽広域に、残り600万円を町が管理を受けた森林の整備に充てています。一旦は基金に積み立てますが、積み立てた基金を取り崩して実施する森林経営管理基金事業を設けています。

要望 この制度は長い時間をする。迅速に透明性のある全体計画を練り、基金をどう使うかみんなに見えるよう計画を整備してもらいたい。

合員であることが多いため、森林組合に対しても周知を行っているところです。

水道施設改良の計画があつたと思うが、どうなつたか。

また、当該地区で新たに事業を始めた方々に対してどう説明しているか。何らかの方法で改善出来ないか。

A 簡易水道による給水も検討しましたが、現地調査の結果無理であると判断しました。

Q 森林経営管理基金はどうのように使うのか。
A ライフラインの危険木伐採、作業道開設の補助金、薪やペレットストーブの導入補助金など

Q 商標登録の予算が令和6年度に計上されている理由は。

A 特產品である「あかたつ」の登録更新に必要な費用です。

の支援事業補助金などを検討中です。

Q 商標登録の予算が令和6年度に計上され

要望 優先課題として早期に取り組み、定住しやすい環境づくりに努めてほしい。

Q 小規模水道の改良が計画されているが、場所は。

A 与川地区の水道統合を見据えた事業であり、今後の統合を計画していくための事業費です。

Q 町道南木曽小学校上線の道路調査費が計上されている。内容は。

A 小学校上に新たに町道を建設するための調査を計画しています。

A 事業については広報誌を使って周知していますが、実際に施業するのは森林組合の組

Q 町道大原線

原ポンプ小屋に至る箇所では、過去に転落事故も起きており大変危険である。改良工事の予定はないか。

Q 町道富貴畠線の調査が計画されているが、内容は。

A 以前から地元より改良の要望が出ている箇所ですが地形などの問題があり、改良の進め方も含めて令和5年度に調査を計画しています。

す。

Q 大洞橋の話は計画に載っているか。

A 橋梁補強工事として、令和8年度以降に2億4千万円を計上しています。

Q 町道富貴畠線の調査が計画されているか。

A 県で行う高瀬橋の工事と重なってしまうが、大洞橋の工事を先に実施すべきでは。

す。

Q 橋梁整備

A 県事業の内容を確認しながら進めますが、順番としては高瀬橋の工事が先に完了し、その後大洞橋の工事という形になります。

す。

Q 北部のわらび沢橋の架け替えについて、具体的にどこまで内容を詰めるのか。

A 令和5年度に町道

す。

Q 妻籠水道水源を観測している水文調査のデータは確認出来るか。

A この調査はJR東海による調査とは別に町が独自に行っているもので、妻籠・蘭・広瀬地区で毎月調査しています。データを閲覧いただることは可能で

す。

Q リニア関連水文調査

A 調査はJR東海による調査とは別に町が独自に行っているもので、妻籠・蘭・広瀬地区で毎月調査しています。データを閲覧いただることは可能で

す。

Q 妻籠水道水源保

す。

A 意見

存地区の関係で、県の環境審議会から指摘を受けて始めた調査である。トンネル掘削に備え、いつでもデータを見られるようにしておくべきだ。

●火災発生時の放送

火災発生の放送が分かりにくいとの苦情がある。消防署との協議は行つたか。

A 木曽消防署は現在目標物を起点に方角と距離を知らせる放送をしています。

個人の名前を出すことによって、電話連絡の混乱や現場の消火活動の妨げになるなどのおそれがあるため、今後も現行の方法を継続したいと考えています。

●ヘリポートの整備

A 現在天白公園に設置していますが、他地区からも要望があるため調査の上検討します。

●分館建設検討委員会

教育

会は、どこの分館についてどのように検討するのか。

●学校給食費補助

Q 小中学校の給食費補助は今年度臨時交付金によって1万5千円となつたが、来年度からは町の事業で行う計画となつていて。今後補助率を上げていく考

えはあるか。

A 財源の確保が課題になりますが、町長部局とも相談しながら、少しでも補助率を上げる方向に向かっていけばと考えています。

●奨学金制度

Q 奨学金が計上されているが、内容は。

A 木曽広域連合の奨学金見直しなどもあり、現在内容の調整を行っているところです。3月議会の前に全員協議会で内容を説明します。

●ヘリポートはどこに設置するのか。



現在の県宝藤原家

として2千万円が計上されているが、町民の理解が得られるのか。

A 老朽化が進んでいる蘭分館、広瀬分館、田立分館について検討を行う予定です。

まずは地元の意見を聞きながら方向を定め、専門家の意見も踏まえて検討していくと考えます。

●県宝藤原家の修繕

Q 県宝藤原家の修繕は、けして多いとは思えない。町民が必要とするところや困っているところに配分するよう考えてほしい。

●埋蔵文化財広域分担金

Q 新規事業とされているが、今までの埋蔵文化財では分担金が生じていなかつたのか。これまでも調査の状況によって分担金は生じています。今回は他町村で継続的に調査を行う話があり、それに伴う人件費確保のための分担金です。

蘇南高校の将来ビジョン検討のための視察報告

全員協議会の質疑内

●質問 ○意見・要望など

【説明概要】
11月13日から15日にかけて、岐阜県恵那高校、長崎県平戸高校・松浦高校、北海道斜里高校・大空高校の視察を行ったことについて報告があります。

- 視察した上で、この先1学年2学級を想定しているのか、または1学級でも存続出来ると考えているのか。また、県立高校でそれが可能なのか。
- 今は校長自らがコーディネーターをされているが、継続していけるのか。
- 妻籠宿との連携がもう少しあっても良いのでは。
- 教育方針として多様性を尊重するとあるが、先生の負担が大きいのではないか。
- 中学校との連携について、近隣町村や岐阜県との連携は可能か。
- 塾については現在先生の負担が大きいと思うが、町が大企業から塾講師を招へいしているところもある。校長の考えは。
- 地域との連携や、地域と高校を繋ぐ人材（コーディネーター）の確保などの必要性を感じた。

個人情報保護法の改正

【説明概要】

個人情報保護法の改正に伴い、個人情報保護法施行条例を制定することや、改正法を施行するために必要な事項などを条例に規定することについて説明がありました。

個人情報保護法の改正への質疑

- 一般的には戸籍謄本を取るなどは今までどおりに出来るというとか。
- マイナンバーカードを国民に作って下さいといったことに関係あるか。
- 個人情報を匿名加工することで民間にも提出出来るようになった中で、個人情報を保護するために個人の請求権が拡大される内容は今度の保護条例の中で扱われているか。
- 条例と言ひながらその枠組みは全体の法の中で決まつていて、手数料をどうするかぐらいしか独自に定めることが出来る中身はないということか。
- 自治体の個人情報を民間でも活用出来る仕組みになる。その中で本当に自治体の持っているデータが守られるのか非常に懸念がある。
- 条例の中身は今までと相当変わる。自治体独自で規定していることを見たいので、素案については早い時点で示していただきたい。

諸証明書コンビニ交付の導入

【説明概要】

マイナンバーカードを利用することで、町の発行する諸証明書を全国のコンビニエンスストアなどのキオスク端末（マルチコピー機）から取得出来るようにすることについて説明がありました。

諸証明書コンビニ交付の導入への質疑

- 運営経費に対する補助や交付税の措置があるのか。
- 運営経費が毎年600万円かかり結構な負担になるが、費用対効果はどう考えているか。来年以降値上げとなる可能性は無いのか。
- 高齢化していく中で窓口業務が一層重要になるが、年間600万円あれば増員出来るのでは。
- マイナンバーカードの取得率が高ければ事業導入経費補助率のかさ上げがあるのか。
- 多くの市町村すでに加盟していると思うが、発行によるトラブルは聞いているか。
- デメリットとして職員の事務手続きが煩雑となるとあるが、具体的には。
- 事業の導入で窓口が軽減されるのであれば、1名削減出来るのでは。
- キオスクは汎用端末だが、故障したら補修の費用はコンビニが負担するのか。
- コンビニのプリンターで出力されるが、プリントデータは残る。データを消した確認や、プリンターを管理している業者の条件などはどうなっているか。
- 現在、町の個人情報保護条例ではオンライン結合が禁止されている。2月に申請すると保護条例に抵触することはないのか。
- いつでもどこでも簡単にコンビニで発行出来るようになるのは便利で良い。いろんな問題はあると思うが、導入経費が半分になる今が導入するタイミングだ。
- 若い人たちから見ればコンビニで発行されることも必要なのでは。
- 町内に住んでいる人のサービスも大事だが、全国の南木曽町出身者へのサービスも必要だ。
- 年間で300件の利用があるとすると、一件当たり2万円の運営費となる。300人の小中学生の給食費に充てれば一人2万円ずつになる。
- 高齢化が進む中で窓口業務をどうするか、若い人たちの声に応える窓口とは一体何か、受付時間を月曜日以外にも行うことや、南木曽会館でも証明書を発行するなどもっと考えていくべきと思う。
- 費用対効果から先送りしたいが、導入補助が令和5年度だけとなれば賛成せざるを得なくなる。

出産・子育て応援交付金

【説明概要】

国が進める出産・子育て応援交付金について、令和4年4月以降に出産したすべての人に対して、計10万円の経済的支援を行うことについて説明がありました。

出産・子育て応援交付金への質疑

- シングルマザーも面談などの支援を受けられるのか。
- 町では現在出産祝い金2万円を支給しているが、これに国からの10万円が加わるとの理解で良いか。
- 今まで町では保健師が支援を担当しているが、新たな支援による増員などは考えているのか。
- 現在実施されている出産・子育て支援や、新たに始まる「伴奏型相談支援」と重複する部分もあると思われる。経済的支援と合わせて、整理の上説明を求めたい。
- 全国一律に子育て支援として10万円が支給されるのであれば、他町村との差別化にならない。この機会に町独自の支援を追加して他町村との差別化を図り、「子育て支援で選ばれる町」を目指すよう要望する。

県宝藤原家の寄付受領

【説明概要】

県宝藤原家の所有者から寄付の中出しがあり、町所有とすることについて説明がありました。今後は国・県補助金を活用して修繕工事を実施出来るよう計画を立てることになります。

県宝藤原家の寄付受領への質疑

- 県宝に指定された場合、修理の補助率は3分の1となるが、管理は所有者任せであり日常的な支援は無いのか。
- 博物館のように入館料はもらっているのか。
- 県宝に指定された経緯は。
- 大妻籠の上段にあり、場所が分かりにくい。観光客がどれくらい訪れているのか。
- 重伝建のような保存物件は見せなければ意味が無いが、2千万円かけて修繕した後の利活用や管理方法は考えているか。
- 所有者が亡くなり、今後の管理が出来ず困っているのであれば町で引き受けるのが妥当ではないか。
- 建物と土地も町へ寄付したいということなら受けるべきだ。

入札制度の見直し等

【説明概要】

町の工事入札事務に関し最低制限価格が漏洩した疑いについて10月29日以来の新聞報道があり、全員協議会で町の調査報告などが示されました。

●11月29日

「南木曽町が発注した3件の工事入札事務に関する調査報告書の概要」

最低制限価格と同額であった建築工事4件のうち検査案件となっている1件を除く3件について調査を行い、事案の経過・調査内容・調査結果・今後の対応などの説明がありました。この中で、公共工事の入札・契約制度や公文書などの情報管理における課題について適正化を図るため、入札制度の見直しを行うなどの方針が示されました。

●12月7日

「南木曽町が発注した3件の工事入札事務に関する調査報告書」

11月29日の概要報告に基づく報告書が示され、調査した3件についての事実解明は町では困難であるとした上で、調査権限のある公正取引委員会に対して報告をしたことが記されています。
●12月14日
「町民の皆様へ」等
今回の工事入札についての町から町民に向けて配布する文書案が示されました。

入札制度の見直し等への質疑

- 選定業者の見直しを行ってはどうか。
- 最低制限価格は公表しない方向か。
- 予定価格を公表してはどうか。
- 妻籠町並み交流センターの建設委員会の中に入っていた者が、その工事の入札業者として参加していることについてどう考えているか。
- 最低価格が予定価格と一致した場合、積算資料などの提出を求めて審査を行うことになっているが、どのように行うのか。
- 最低制限価格と1円でも違っていれば問題無しと判断するのか。
- 予定価格に近い場合も積算資料などの提出を求めて審査を行うべきと思う。
- 入札参加業者全員に積算資料などの提出を求めてしっかりと時間をかけて入札業者を決定するか、今まで通り指名業者を信頼しながらも不正行為の予防・防止処置を徹底するかどちらかだ。
- 工事費の予算書への記載方法も検討すべき。

聞いて

私の思い



蘭地域振興協議会会長
神原 克也さん

南木曽町と共に61年

私が生まれたのは昭和36年、読書村・吾妻村・田立村の3村が合併し南木曽町が発足した年に生まれ、61年が経ちました。

当時は1万人を超える人口であった町も、令和に入り4千人を割る人口となっています。

私が生まれ育った蘭には、医者・美容院・スタンド・日用品から生鮮食品や雑貨を扱う商店・町役場支所・農協・郵便局がありました。その後には飲食店等も開業してとても活気があり、楽しかった思い出を振り返ることがあります。今なお商いを続けられているお店の方々には、感謝の気持ちを込めこれからもよろしくお願いしますと言いたいです。

「夢」を結集して活気ある町を

町内他地区においても、常に子どものが聞こえ、外では子どもが走り回っている姿を見ることは当たり前だった時代は数十年前の話。過去に戻ることは出来ませんが、未来に向かい夢を叶えるために進むことは出来るはずです。

南木曽町にはリニア新幹線の工事予定があります。町の発展に繋がればと願っております。

南木曽町も61歳、熟成期を迎えているのではないか。皆の力を「夢」を結集して、昔見た活気ある町を築いていきたいですね。

議会の傍聴にお越しください

定例会は年4回（3月・6月・9月・12月）開催されます。詳しい日程などについては、町ホームページ、音声告知端末放送、ケーブルテレビなどでお知らせしています。

*12月の議会は、2日間で8人の傍聴がありました。



編集後記

新年おめでとうございます。あつという間に、又新しい年を迎えた。そんな気がしています。

昨年、世界ではロシアとウクライナの戦争。日本では安倍元首相の暗殺事件。県では県議会議員による殺人事件。そして南木曽町では、妻籠町並み交流センター入札における疑惑と、悪いニュースに事欠きませんでした。残念ながら良いニュースは本当に少なかった気がします。年も変わり、気持ちを切り替えて、希望の持てる年としたいものです。しかし、そうする為には、結果の悪かったことを謙虚に検証・反省し、適切な改善をすることが必要です。本年度は、「議会報」に良い報告が記載出来る様、議員全員、力を合わせて頑張ります。本年も宜しくお願い致します。

議会報編集委員会
坂本 满
伊藤 寿子
早川 晃
親利 (記)